

令和6年度 事業計画案

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

繰り返される自然災害により消費者の瓦離れは深刻さを増すばかりの状況です。災害ごとに行う被害調査にて瓦ガイドライン工法で施工された瓦屋根には、極めて被害が少ないと報告が上がっています。そのことをもってしても、瓦ガイドライン工法の有効性は実証されていると言えます。

しかしながら、何ら建築に関する知識を有していると思えない非組合員の瓦施工事業者が、『家屋の倒壊の原因は瓦が重いからである』とか、『そんな瓦が許せない、人を殺した素材だから』などとメディアを使い、瓦の悪評を喧伝しているのも事実です。

瓦の重要性や安全性を広く発信することを第一義として、今まで以上に技術や災害対策の向上を図ることが肝要と認識し、社会の安定的な発展と地域への貢献に取り組みます。

災害発生後の支援はもとより、日ごろの診断などによる災害への対策および備えの強化、誤認や風評被害が拡大されないためにメディア対策も視野に入れて事業活動を推進してまいります。各委員会の事業は多岐にわたりますので、優先順位を付けて事業展開を進めてまいります。

事業展開にはブロック、会員各位に実施を委ねる部分が大きく、会員役員及び加盟事業所が危機感を持って取り組まれることを望みます。

事業計画

指導・PR委員会

【指導関係】

1. 安スト事業陳情推進
2. 外部への改訂瓦ガイドラインの周知活動
3. 改訂瓦ガイドライン工法講習会の開催
4. 災害協定の推進活動

【PR関係】

1. 瓦復権への取組み（具体的行動の検討）
2. PR大賞の実施、冊子の改訂・新作・SNS配信の検討
3. PRグッズの検討・販売
4. 悪質業者対策の検討

技術・安全委員会

【技術関係】

1. 改訂瓦ガイドラインに関する、例示工法や使用材料の拡充と調査
2. 瓦ガイドライン適合棟金具製造メーカーへのアンケート調査
3. 国交省及び各種行政団体への協力

【安全関係】

1. 各種保険制度の推進 加入促進
2. 労働災害撲滅に関する啓発活動
3. 全瓦連カレンダーの作成と新しい企画の検討

災害対策・危機管理室

【災害対策・危機管理】

1. 災害発生時の対応マニュアルに基づくヒアリング及び調査チームの派遣
2. 災害に対する取り組み事例の調査と収集
3. 瓦の信頼性をそこなう喧伝や悪質訪問販売への対応
4. 全瓦連HPを通じて上記活動の情報を適時発信

【SDGs】

1. あらゆる講習会を通して会員の意識の向上、人材育成を目指して活動
(二委員会連携)

プロジェクト

1. 国立研究開発法人 建築研究所
実大強風雨発生装置屋根風圧係数・瓦飛散実験共同研究
(3カ年計画の3年目)
2. 登録基幹技能者制度創設準備